

2025年3月期 第2四半期

決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2024年12月13日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix
 - ・2025年3月期 第2四半期 連結貸借対照表
 - ・2025年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書
 - ・外部環境

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要

2. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画

3. 2025年3月期 業績予想

4. サステナビリティへの取り組み

5. Appendix

1-1. 2025年3月期 第2四半期決算概要

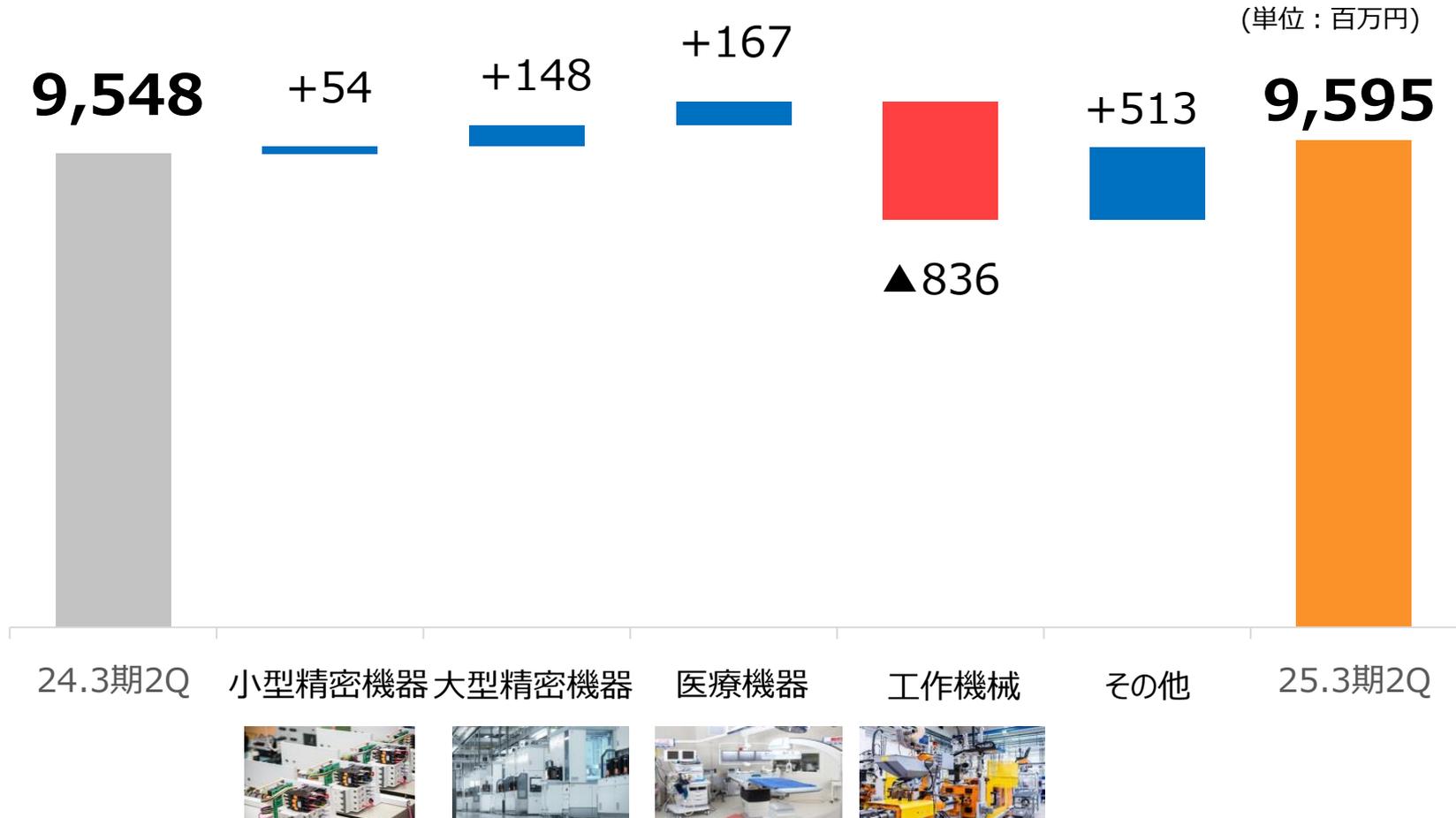
- ・売上高 : 主に工作機械の輸出が減少傾向にある一方、半導体製造装置の取扱いが好調に推移し、おおむね前年並み
- ・営業利益 : 半導体製造装置の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、連結子会社における不正行為によって発生した利益増加額60百万円の影響により、増加

単位：百万円	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年比 増減	業績予想	予想比増減
売上高	9,548	9,595	+47	9,600	▲0.1%
売上原価	7,505	7,508	+3	-	-
(売上原価率)	78.6%	78.3%	▲0.3pt	-	-
販売管理費	1,682	1,646	▲36	-	-
(販売管理費比率)	17.6%	17.2%	▲0.4	-	-
営業利益	359	440	+81	360	+22.2%
(営業利益率)	3.8%	4.6%	+0.8pt	3.8%	+0.8Pt
経常利益	460	314	▲146	350	▲10.3%
当期純利益※	313	199	▲114	240	▲17.1%
(当期純利益率)	3.3%	2.1%	▲1.2pt	2.5%	▲0.4Pt

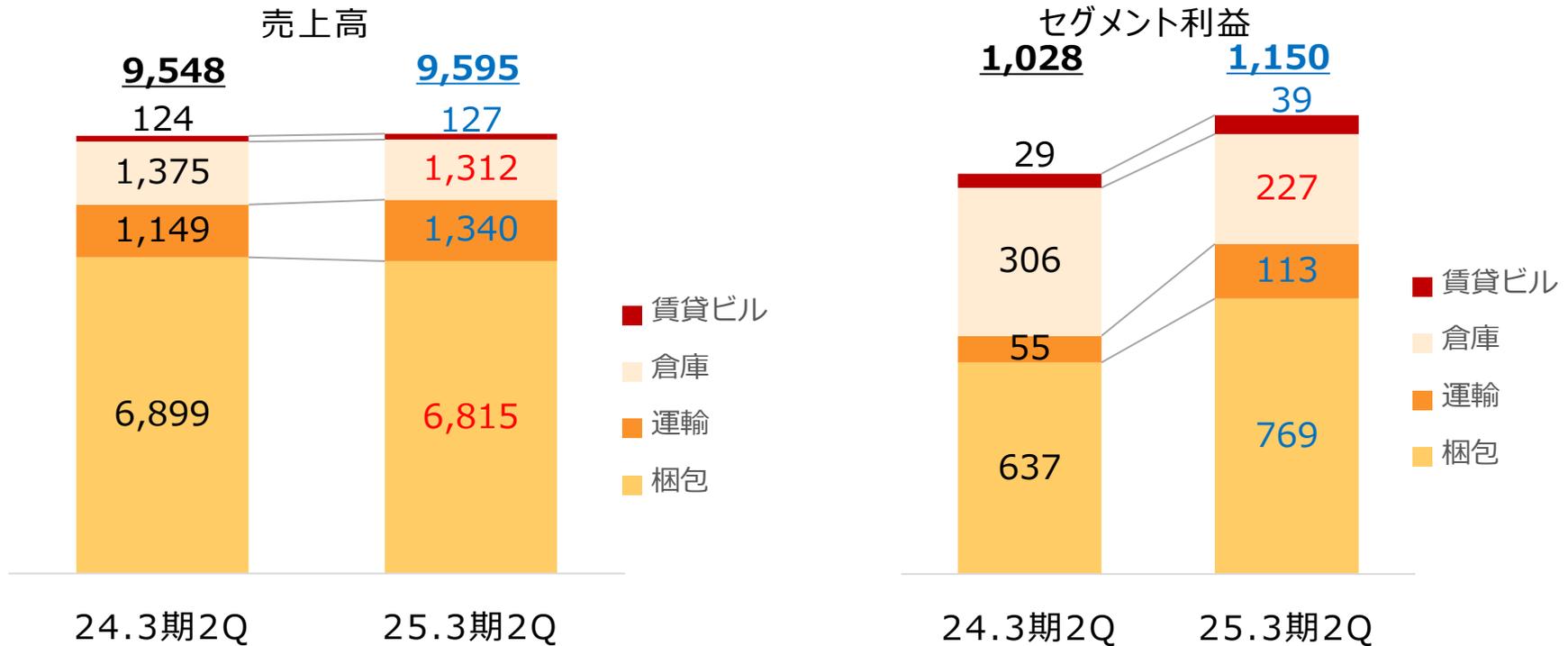
※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益及び純損失を示します。以降のページ同様です。

1-2. 取扱製品群別売上高増減

工作機械の輸出が減少傾向にある一方、半導体製造装置・医療機器の取扱いが好調に推移



1-3. セグメント別実績



梱包事業：減収増益

- ・工作機械の輸出取扱いが減少したことにより減収
- ・半導体製造装置の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、連結子会社の不正行為によって発生した利益増加額60百万円の影響により増益

運輸事業：増収増益

- ・前年大幅に減少していた医療機器の取扱いが復調したことに加え、小型精密機器の取扱いも好調に推移したこと及び、外注費の値上がり分について顧客への価格転嫁を進めたことにより増収増益

倉庫事業：減収減益

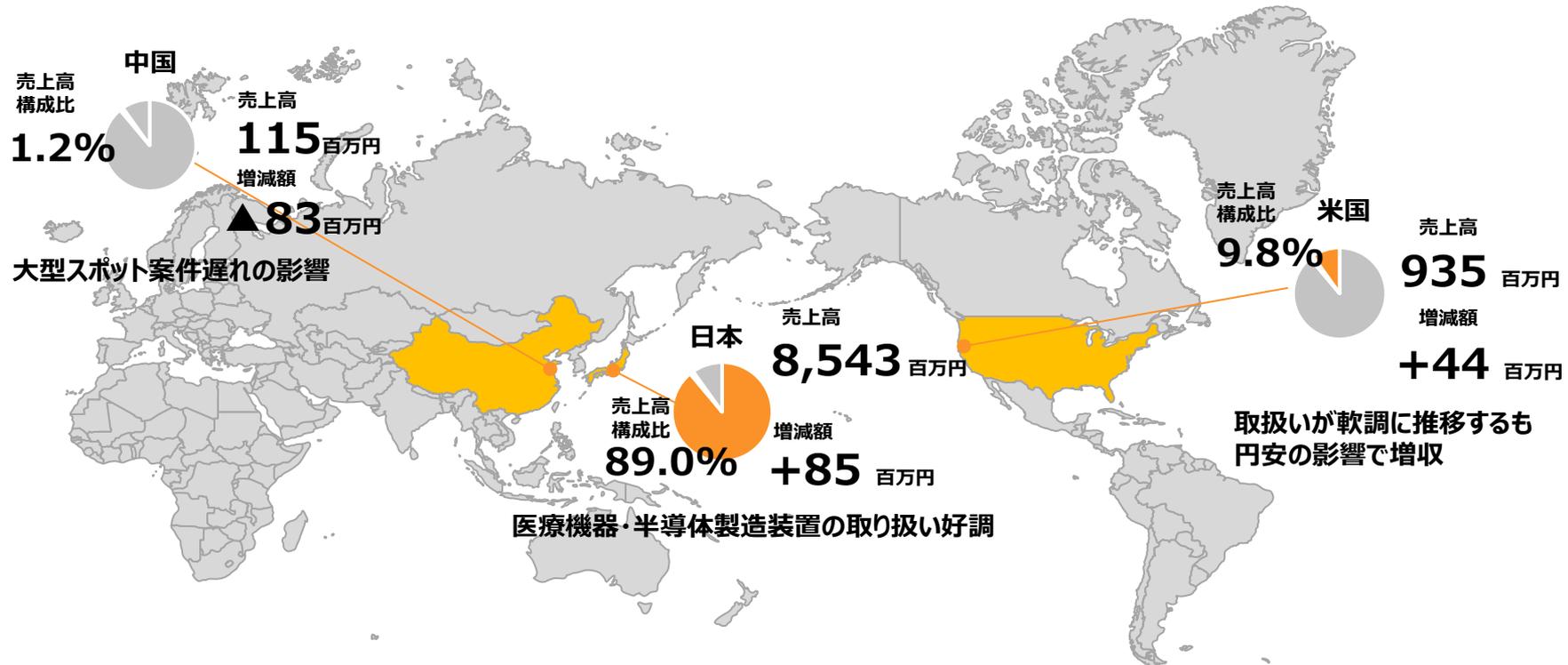
- ・前年増加した半導体製造装置及び工作機械の出荷待ち製品の保管が減少したこと及び、顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが遅れている影響で減収減益

賃貸ビル：増収増益

- ・本社ビルが満床で稼働しているため増収
- ・修繕費が前年より減少したため増益

1-4. 地域別売上高

日本・米国は好調に推移も中国は低調に推移



USD/JPY=151.29

CNY/JPY=20.97

2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

2-1. 事業環境トレンド



2-2. 中期経営計画の概要

中・長期ビジョン

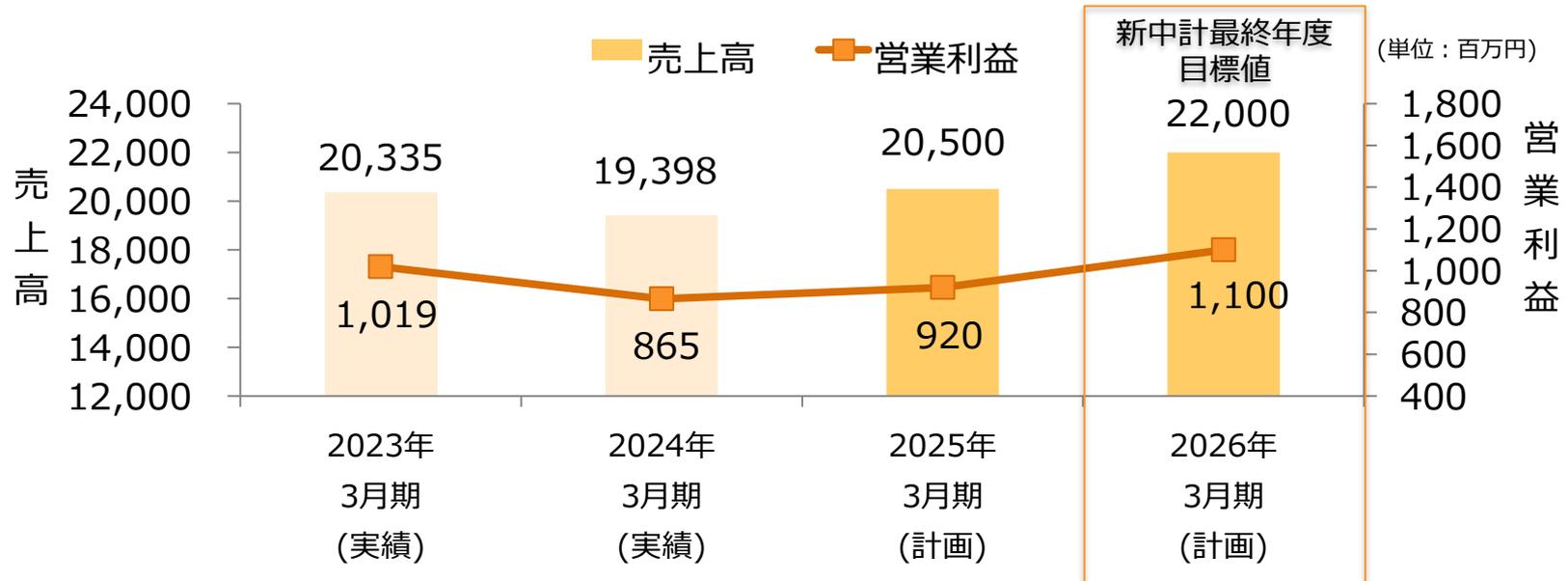
オペレーションからソリューションへ

『ソリューション』

お客様との対話を繰り返すことで、今まで引き出せなかったニーズだけでなく、お客様さえ気づいていない真のニーズを引き出し解決する「ソリューション」の力を身に着けていく。

2-3. 中期経営計画の概要（経営目標）

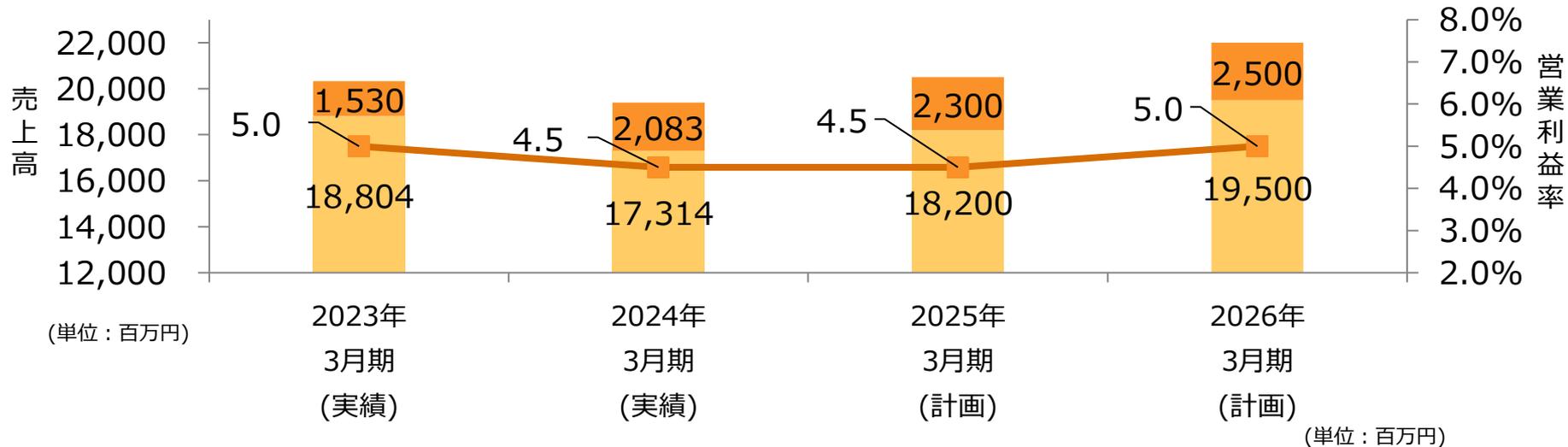
2026.3 売上高	22,000 百万円	2026.3 営業 利益	1,100 百万円	2026.3 営業 利益率	5.0%
伸び率	8.2%	伸び率	7.9%	伸び率	—
2023.3 売上高	20,335百万円	2023.3 営業 利益	1,019百万円	2023.3 営業 利益率	5.0%



2-4. 中期経営計画の概要（国内海外比較）

重要指標：2026年3月期 営業利益率5.0%

国内売上高 海外売上高 連結営業利益率



連結	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)
売上高	20,335	19,398	20,500	22,000
国内	18,804	17,314	18,200	19,500
海外	1,530	2,083	2,300	2,500
営業利益	1,019	865	920	1,100
国内	907	654	650	880
海外	112	211	270	220
営業利益率	5.0%	4.5%	4.5%	5.0%

2-5. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 適切な値上げの交渉を進め、運輸事業において利益率は前期比3.7pt上昇 各セグメントにおいて材料費・人件費の上昇に伴う適正価格の追求
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> 成田新倉庫及びSLA Georgia Branchへの投資 DX関連設備へ約8百万円の投資
DX	<ul style="list-style-type: none"> ロジメーターやキントーンの導入による効率化 運輸事業部にて自動点呼システム導入 八王子事業所にEdgeOCR導入
サステナビリティの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 顧客へのモーダルシフト、環境に配慮した包装設計の提案
事業運営の基盤強化	進捗
人材育成計画	<ul style="list-style-type: none"> 梱包管理士3名（累計28名）、技能検定1級3名（累計30名）取得 顧客専属の営業担当を配置し真のニーズを引き出す
サステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティPT主催で女性/男性社員交流会開催 職場環境アンケートの実施（p.23参照）



【米国西海岸 新倉庫完成】
2023年10月稼働開始
現在満床で稼働中

オーバーヘッドクレーン 30トン2基
7トン・3トンフォークリフト 各1台
敷地面積5,548㎡(1,678坪)
延床面積2,508㎡(760坪)



2-6. 中期経営計画の進捗（村山事業所府中倉庫開設）

事業戦略	進捗
顧客理解深化によるソリューション提案	<ul style="list-style-type: none"> ・主要顧客外部倉庫の集約提案により村山事業所府中倉庫開設へ
	 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客と共にAUTOSTOREなどDX設備を導入し省人化、省力化 ・顧客工場に隣接した立地を活かしJIT納品を実現
名称 SANKEILOGI府中	
所在地 東京都府中市武蔵台一丁目1-3	
交通 国立府中ICから3.6km 北府中駅から徒歩10分	
敷地面積 約16,877㎡（5,105坪）	
延床面積 約39,617㎡（11,984坪）	
当社賃借面積 1階、4階 15,659.03㎡（4,736坪）	 <ul style="list-style-type: none"> ・施設には従業員用カフェテリアを完備 快適な空間を確保

2-7. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
シームレスな国際一貫物流サービスを推進し、輸出入案件の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・米国西海岸新倉庫稼働により、シームレスな国際一貫物流サービスの拡張へ ・米国南東部のジョージア州サバナ港に新倉庫建設決定（2025年7月竣工予定）
成田地区の事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新倉庫の事業計画策定及びシンジケートローンの契約完了（2026年6月竣工予定） ・ターゲット企業に対し倉庫詳細計画の説明を開始



成田地区新倉庫主要設備

- ・全館空調設備、太陽光発電
- ・非常用発電機
- ・大型5 t EV 1基、4.1 t EV 1基
- ・5 tサスペンションクレーン1基
- ・テーブルリフター10 t 1基、小型1基
- ・ドックレベラー2基
- ・EV車用充電設備
- ・倉庫内冷蔵・冷凍設備
- ・防犯監視カメラ&24h有人警備



SLA Georgia Branch(仮称)

- ・延床面積：5,921 m² (1,791 坪)
- ・オーバーヘッドクレーン 33トン1基、25トン1基、フォークリフト、ローディングドック3ヶ所等

3. 2025年3月期 業績予想

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

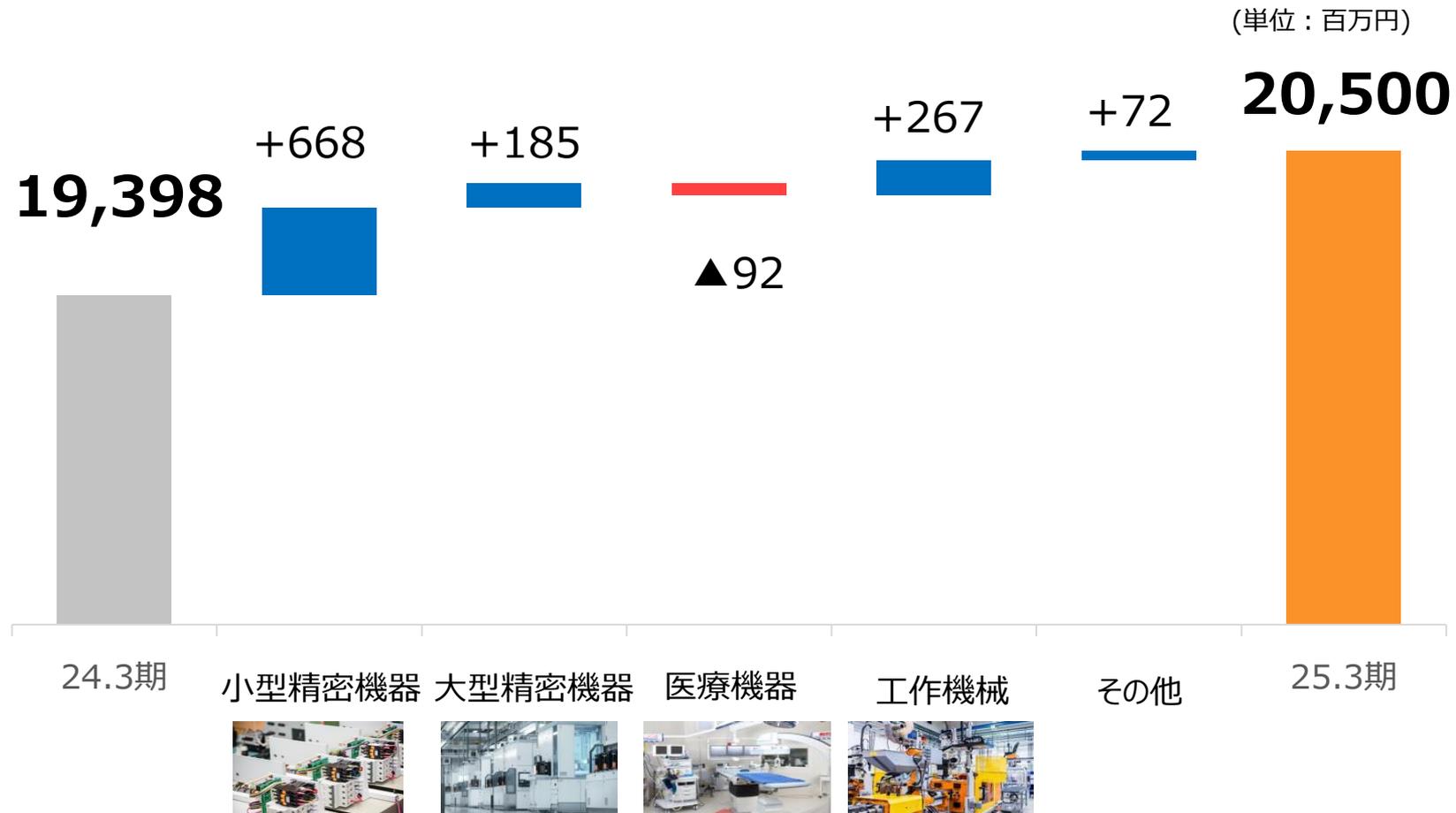
3-1. 連結業績予想

積極的な人材確保の継続に向け、販売管理費が増加も利益率は維持

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減	増減率 (単位：百万円)
売上高	19,398	20,500	+1,101	+5.7%
売上原価	15,024	15,860	+835	+5.6%
(売上原価率)	77.5%	77.4%	-0.1pt	-
販売管理費	3,508	3,740	+231	+6.6%
(販売管理費比率)	18.1%	18.3%	+0.2pt	-
営業利益	865	920	+54	+6.3%
(営業利益率)	4.5%	4.5%	±0pt	±0pt
経常利益	786	900	+113	+14.4%
当期純利益	572	620	+47	+8.3%
(当期純利益率)	3.0%	3.0%	±0pt	
(参考) 設備投資	871	681		
(参考) 減価償却費	769	800		

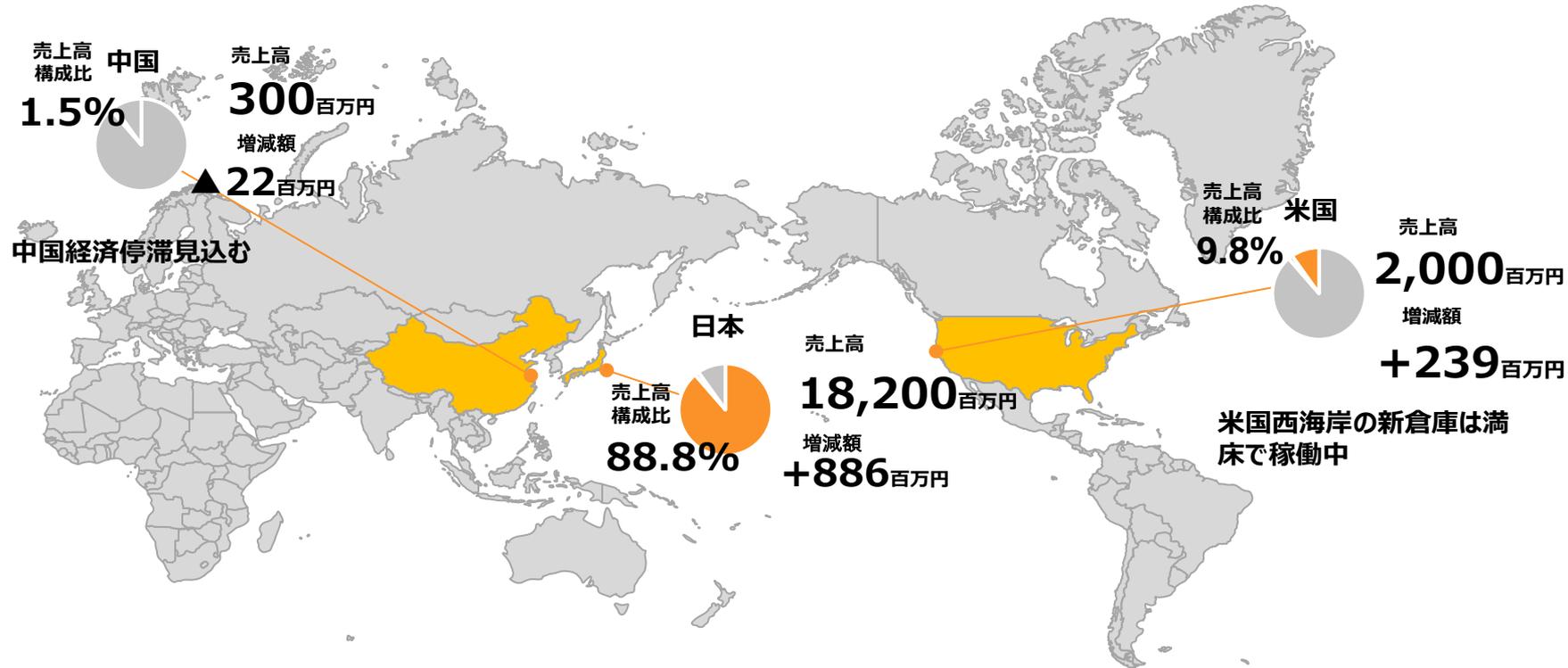
3-2. 取扱製品群別売上予想

国内では、制御装置の新規案件獲得及び航空貨物の取扱いの増加を見込む
 米国子会社では、工作機械の取扱いが好調に推移する見込み



3-3. 地域別業績予想

米国は新倉庫稼働寄与、中国は景気低迷見込む



USD/JPY=151.00

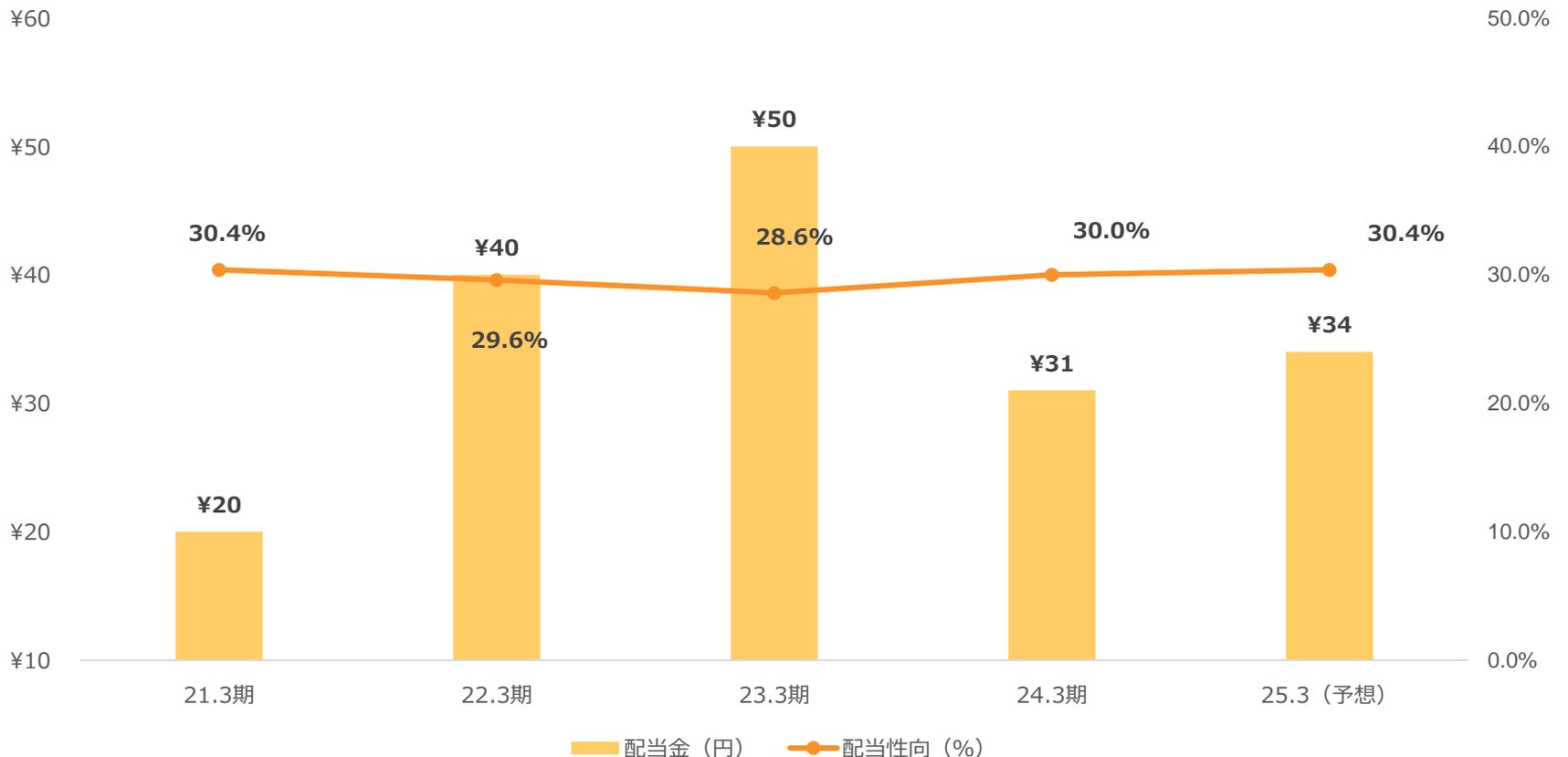
CNY/JPY=21.00

3-4. 配当方針

株主還元方針：連結配当性向30%を目途に検討

2025.3期：配当性向30%程度を維持

2024.3期：1株当たり31円を配当



4. サステナビリティへの取り組み

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

4-1. サステナビリティ基本方針の策定

— サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ることで、「物流品質の向上」につなげていきます。

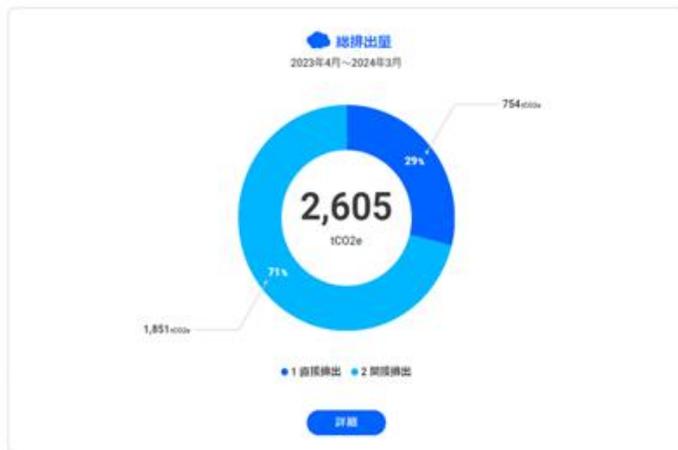
4-2. 環境への取り組み

世界包装機構主催World Star 2024 ワールドスター賞を受賞



2024年	世界包装機構主催 World Star 2024 ワールドスター賞 受賞 『環境負荷低減 段ボール仕切りトレイの開発』
2023年	Good Packaging 電機・機械包装部門賞 受賞
2023年	世界包装機構主催 World Star 2023 ワールドスター賞 受賞 『工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発』
2022年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞
2021年	Good Packaging 工業包装部門賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2021 ワールドスター賞 受賞

新システムアスエネの導入



現在、Scope 1とScope 2に対応し、各事業所のCO2排出量を可視化

4-3. ダイバーシティ・職場環境の向上

ダイバーシティPTの立ち上げ



女性従業員へのヒアリング

- ・人事制度、設備、会社の文化の3つの切り口から提案

女性交流イベントの実施

- ・女性活躍の場面を見る、知る機会の創出



女性交流会での声を基に男性交流会を開催

- ・アンコンシャスバイアスの解消へ繋げる



職場環境アンケートの実施



休憩室の椅子の取り換えや給茶機の設置など、従業員の声を基に環境改善を実施



4-4. サンリツ卓球部の活動

◆ 概要

- ・卓球部を1979年に創設 ・日本卓球リーグ女子1部に所属



◆ 直近の主な戦績

- ・第58回全日本社会人卓球選手権大会《女子ダブルス》 **優勝**
- ・第74回全日本実業団卓球選手権大会 **準優勝**

◆ 卓球を通じた交流

- ・サンリツ京浜事業所内にて、「第22回卓球教室」を開催



地球をつつむ思いやり ロジスティクスパートナー



物流は梱包から
はじまる。

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部

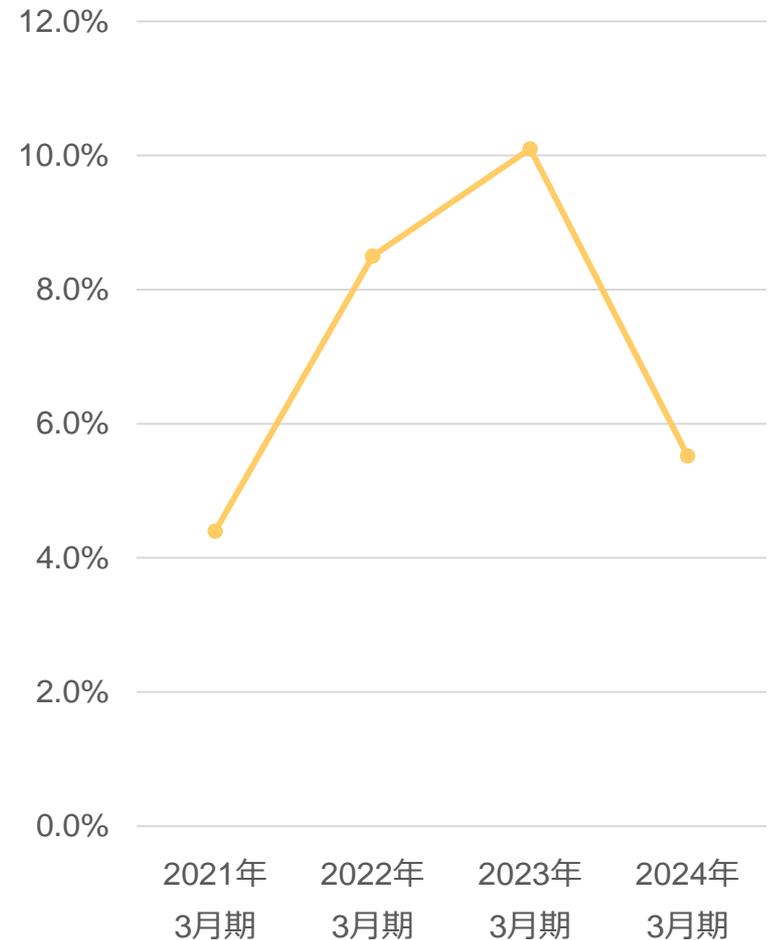
5. Appendix

1. 2025年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

2025年3月期 第2四半期連結貸借対照表

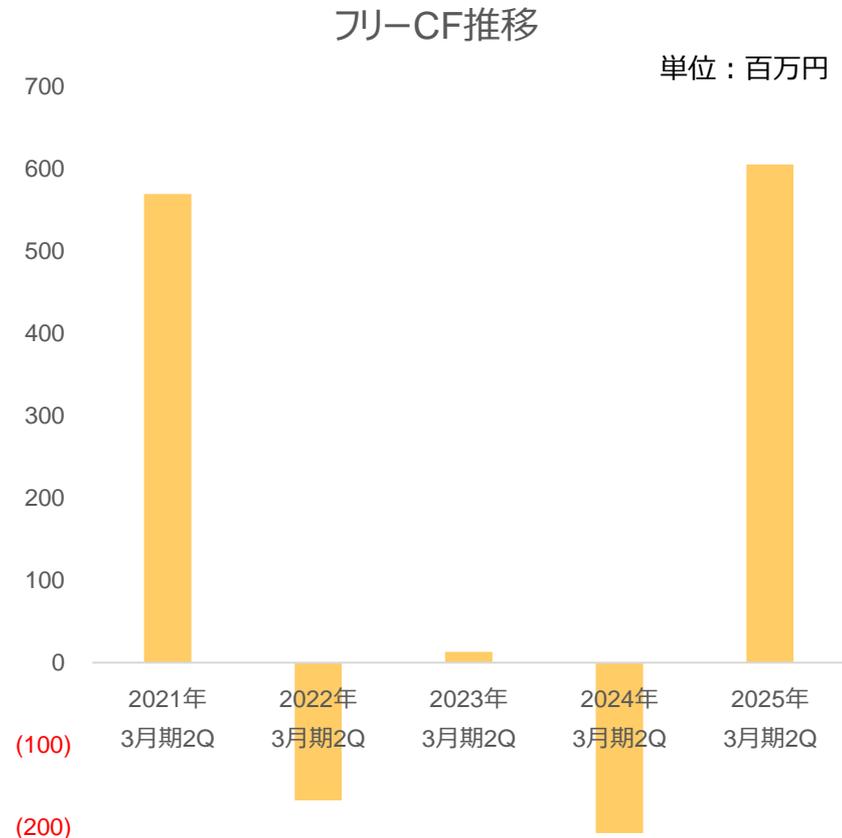
(百万円)	2024年 3月期末	2025年 3月期2Q	前期比増減
流動資産	6,446	7,472	1,025
固定資産	14,909	15,300	391
有形固定資産	12,505	12,886	380
無形固定資産	242	220	▲21
投資その他の資産	2,161	2,193	32
資産合計	21,356	22,773	1,416
流動負債	5,745	6,183	437
固定負債	4,834	5,165	331
負債合計	10,579	11,348	769
純資産合計	10,777	11,424	647
負債及び純資産合計	21,256	22,773	1,416
売上高当期純利益率	3.0%	2.1%	▲0.9pt
流動比率	112.2%	120.9%	+8.7pt
自己資本比率	49.7%	49.5%	▲0.3pt

ROE推移



2025年3月期 第2四半期連結キャッシュフロー計算書

(百万円)	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q
営業活動によるC/F	457	1,169
うち税金等調整前当期純利益	460	317
うち減価償却費	379	410
うち売上債権の増減額 (▲は増加)	223	154
うち営業外業務委託料	0	92
投資活動によるC/F	▲664	▲564
うち有形固定資産の取得	▲620	▲423
うち差入保証金の差入による支出	▲32	▲97
財務活動によるC/F	▲153	437
うち長期借入金による収入	1,650	2,350
うち長期借入金の返済による支出	▲2,016	▲1,725
リース債務の返済による支出	▲110	▲114
うち配当金の支払い	▲275	▲172
換算差額	59	43
現金及び現金同等物の増減額	▲300	1,086
現金及び現金同等物の期末残高	2,425	3,306

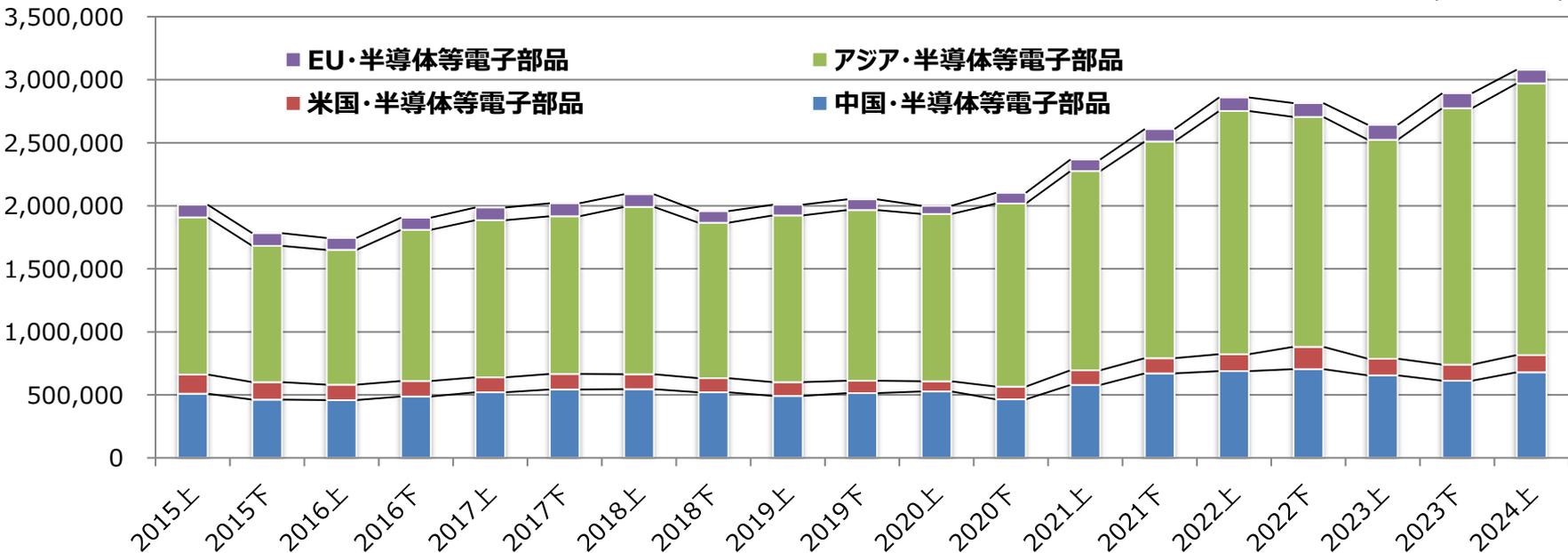


【参考】外部環境(～2024年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

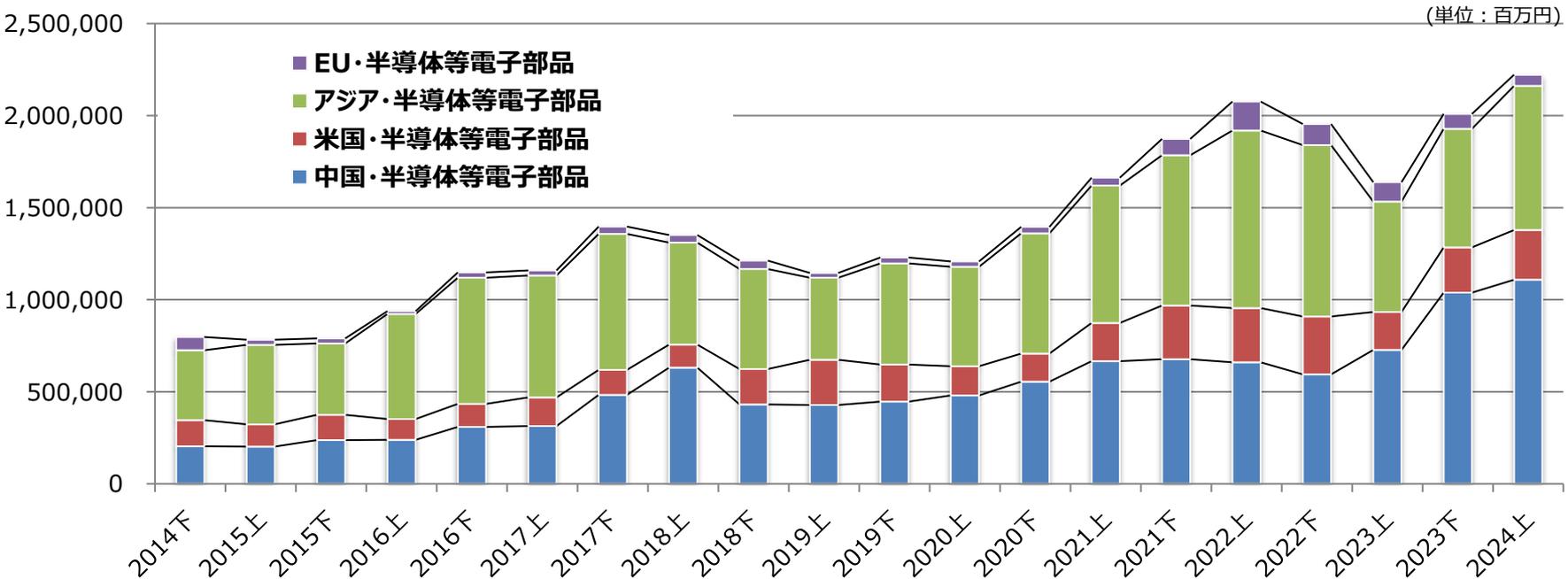
・増加トレンドのまま過去最高額を更新。

【参考】外部環境(～2024年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器

半導体デバイス又は集積回路製造用の機器



出典：財務省貿易統計より

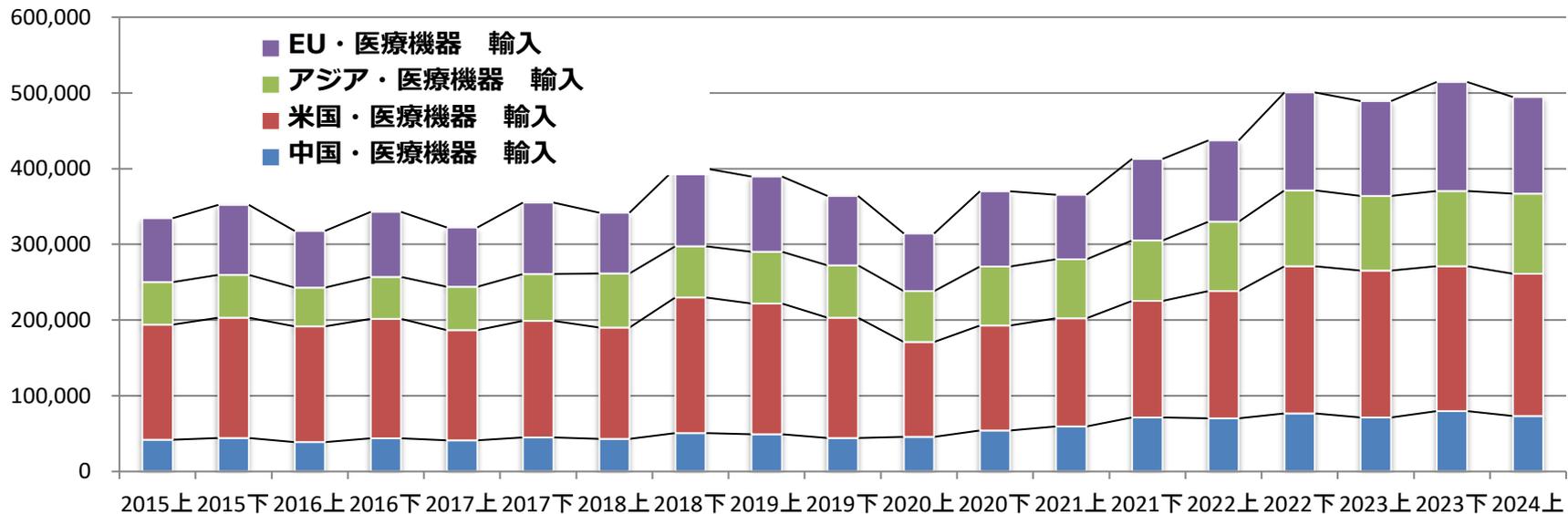
・2022年にピークを迎え、2023年上期で急激に減少在庫調整の動きか復調傾向がみられる。

【参考】外部環境(～2024年度上期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

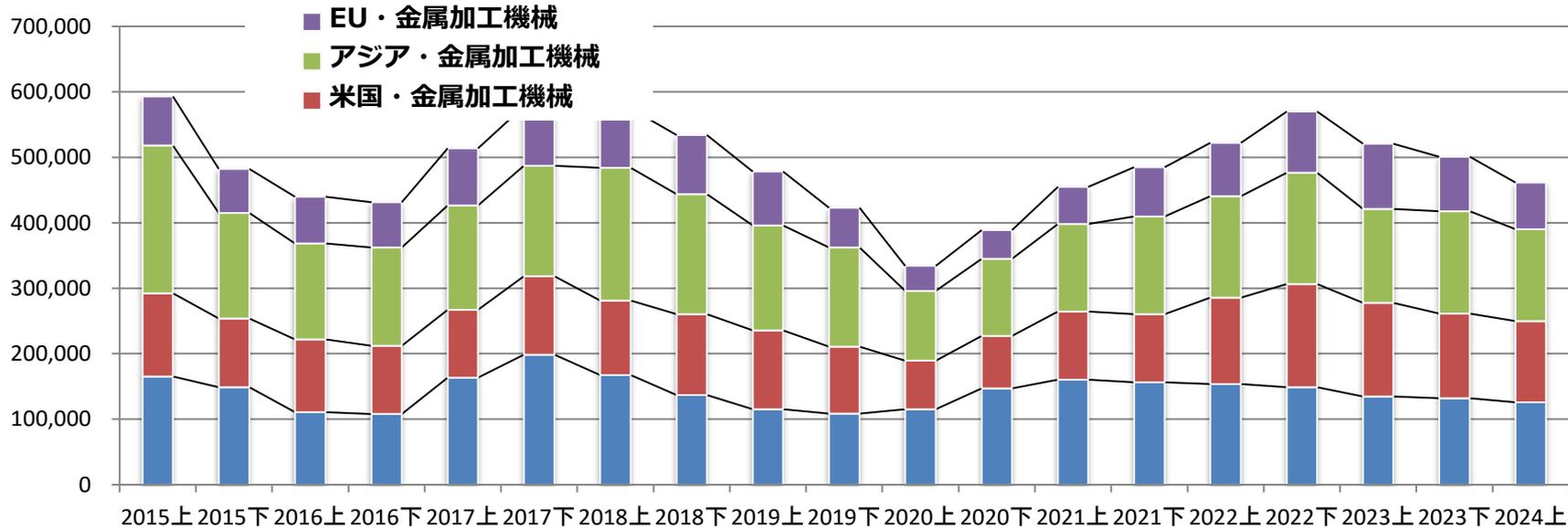
・2020年を底に、おおむね堅調に増加傾向にある。

【参考】外部環境(～2024年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

・金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2020年下期に底打ち後、アップトレンドであったが2023上期からはダウントレンド